

事業 苗木補助



9月定例会は、9月9日に開会し、9月30日に閉会しました。

今議会では、平成20年度予算補正や平成19年度水道事業決算の認定などの報告1件、承認案1件、諮問1件、同意案3件、議案14件、陳情2件、発議4件を審議・議決しました。

◎ 予算

☆平成20年度曾於市一般会計補正予算(第3号)

(賛成 全会一致)

今回の予算は、1億6,593万円を追加し、予算総額は206億7,137万6千円となりました。

歳入の主なものは、豪雨災害に伴う農業用施設災害復旧費県補助金3,784万9千円、大川原峡周辺公園整備事業が国庫補助対象となったことによる農山漁村活性化プロジェクト支援交付金1,742万2千円、また県単急傾斜地崩壊防止事業費補助金400万円、前年度繰越金3,631万3千円、

財政調整基金繰入金3,111万7千円、及び市債3,380万円等です。

歳出の主なものは、株式会社メセナ末吉からの

寄附金2,000万円の施設整備基金への積立金増資のための畜産振興基金繰出金3,000万円、新規採択に伴う県単急傾斜地崩壊対策事業980万円、試験費用等の追加による小中学校校舎・屋体耐震診断調査業務委託料707万2千円及び豪雨災害に伴う災害復旧費6,111万6千円、また森林・林業振興事業で美しい森づくりの一環として、山桜の苗木300本分、210万円を含む435万円等です。

◎ 水道決算認定

☆平成19年度曾於市水道事業会計決算認定

(賛成多数)

水道事業は年数経過による施設の老朽化が進んでいる中、安全で安定的な水の供給を図るため、年次の計画に基づいて、改良等に務めてきました。

経営状況は、給水戸数14,288戸、給水人口34,439人、総給水量(有収水量)365万2,671m³で一人あたり使用水量290ℓとなっています。事業収益は、5億3,458万8,029円、事業費用は4億8,331万1,048円で、純利益は5,127万6,981円となりました。

美しい森林づくり 伐採跡地に桜の



◎意見書

・新たな過疎対策法の制定に関する意見書を可決

現行の過疎地域自立促進特別措置法は、平成22年3月末で期限が切れます。

農村部の過疎地域の現状は、高齢化・少子化の進行と地域活力の衰退、路線バスなどの公共交通機関の廃止、医師・看護師の不足、田畑の耕作放棄の増加、森林の荒廃など、生活・生産基盤の弱体化が進む中で多くの集落が消滅する恐れがあります。

そのため、今なお解決すべく多くの課題が残されている、今後も強力な施設の必要性を痛感しております。引き続き総合的な過疎対策の充実強化を求める意見書をあげるものです。

◎人権擁護委員の承認

人権擁護委員候補者を推薦するため、議会に意見が求められ適任とされました。

持田初穂氏 60歳
(大隅町月野)

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

現委員の任期が満了となるため左記の委員を選任しました。

大休寺茂氏 70歳
(末吉町南之郷)
谷口憲幸氏 68歳
(大隅町大谷)
鬼丸次雄氏 59歳
(財部町北俣)

☆団体営土地改良事業の施行

(賛成 全会一致)

平成21年度の新規事業採択に向けての取り組みで、大隅町柳井谷地区の基盤整備促進事業を実施するものです。

内容は区画整理9.2haと農業用排水施設整備を4.6haに905mのパイプラインを設置する計画となっています。

○事業概要

- ・事業期間 平成21年度～平成25年度
- ・全体事業費 2億420万円
- ・受益者数 農業用等排水30名・区画整理47名
- ・農業用排水 905m(パイプライン)
- ・区画整理 9.2ha



大隅町柳井谷地区